



JAC北九だより

No.91 (2020年 第1号)

公益社団法人 日本山岳会 北九州支部

kitakyushu Section of The Japanese Alpine Club

発行：公益社団法人 日本山岳会北九州支部
 支部長 日向 祥剛
 事務局：糟屋郡篠栗町尾仲50-17
 榎 俊一方
 TEL/FAX自宅 092-947-3208
 携帯 090-8416-4194
 編集人：事務局 花田 拓二
 印刷：山口県山口市水の上町2-25
 内藤 製本所

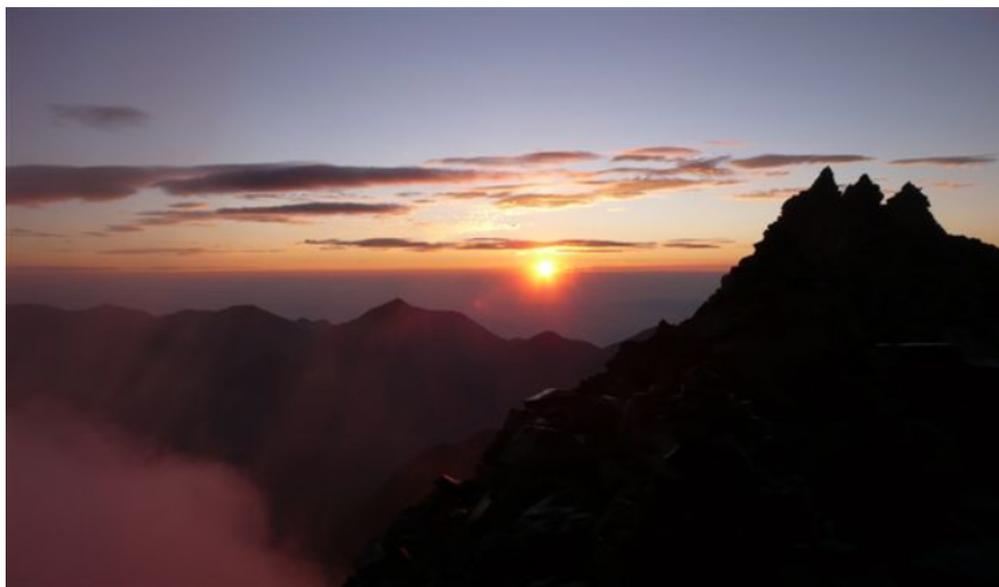
新年のごあいさつ

令和の新年を迎えて

北九州支部長 日向 祥剛

初春

子



奥穂高岳稜線から ご来光

(写真 花田拓二)

令和二年元旦

令和最初の新年を迎えました。庚子(かのえね)。すべての始まりと、未来への可能性を秘めています、また子は子孫繁栄の象徴でもあります。皆様の活躍を期待しています。

今年は5月に宮崎で全国支部懇談会、7月はオリンピック東京大会、8月も大分、九重で全国山の日が開催、秋には東九州支部の60周年行事など多くの行事が予定されています。支部の計画も担当の皆さんが、積極的に、知恵をしぼって、楽しく有意義な計画をしてくれています。是非、積極的に無理をしないで安全に参加して下さい。楽しく、気持ち良く参加すれば、山の知識、技術、経験も深まり、新しい世界が広がります。

一年の始まりです。今年の計画を是非作って下さい。今までよりも1mでも高く、1つでも多く、1回でも多く山に登りましょう。そして山の写真を撮り、絵を描き、詩を読み、歌を歌い、版画を彫る、思い出を形にして残しましょう。山の歴史、風土、地形、気象、更に登山の歴史、日本山岳会の歴史も勉強しましょう。人生が楽しくなります。趣味が山の人たちの仲間なので。一人でも、仲間でも、成果を知ってくれる人がいる、評価をしてくれる人がいる。

認ってくれる人がいることは素晴らしいことです。うれしいことです。さあ、行動を起こしましょう。じっとしていても何も始まりません。

北九州支部は2000年9月2日に誕生し、今年で20年を迎えます。人であれば成人式を迎えます。北九州支部も歴史と伝統のある日本山岳会の支部の一員として、しっかりとした地位を確立できたと思います。そこで、20周年は皆さんと共に、全国の仲間、多くの人たちと共に、楽しく盛大にお祝いをしたいと思います。その為、20周年実行委員会を立ち上げ、開催時期を来年の9月頃(一部今年)として、記念式典、記念講演、懇親会、記念登山、海外遠征、国内遠征、記念誌等々。北九州支部の総力を挙げて臨みたいと思います。皆様の積極的な参加をお願いします。明るく、楽しく、賑やかに進めて行きましょう。

今年度も残り3ヶ月、ホームページも始まり、役員や委員の方々の協力、実行力、そして、皆さんの積極的な参加を得て、無事故で活発な運営を進めています。皆さんの意見を大切に皆んなでつくる、明るく、楽しい、前向きな北九州支部をよろしく願います。

令和元年12月7日

日本山岳会 年次晩餐会

於 京王プラザホテル

天皇陛下をお迎えして 盛大に開催

15138

縄田 正



左から 縄田 日向 関口 各会員 (写真 縄田正芳)



会場の様子 (写真 縄田正芳)

会員一同が着席して待つ中、盛大な拍手に迎えられてにこやかな笑顔で天皇陛下がご入場され、ご臨席されました。そして令和最初の日本山岳会年次晩餐会が厳粛な雰囲気の中でも華やかに開催されました。今回支部よりの参加は3人と昨年に比べて少なくちょっと残念でしたが、それでも全国からは例年通り500余人と多くの参加者があり賑やかな会となりました。

6時よりの晩餐会に先立ち会場ホテル内では山岳会の今日までの自然保護活動の歴史や現況報告の展示、山岳写真展、図書交換会、講演会なども開催されました。展示内容や写真を熱心に見入る人や旧知の会員を見つけ談笑する多くの人たちで開宴前より賑わっていました

6時より年次晩餐会の開宴です。会長の挨拶に始まり新入会員の紹介と進みました。今回出席者は26人、

中学生の会員もおられ全般に若い会員が目立ちました。今後の活躍が期待できそうです。次に表彰式、鏡開きには予定外でしたが天皇陛下が法被を着られて壇上にお上がりになり会場を大いに盛り上げて下さいました。そして乾杯へと進みいよいよ開宴です。各テーブルではテーブルマスターの進行のもと自己紹介から始まり、初めて顔を合わす他支部の会員と食事を挟みながらにぎやかな歓談となり宴は進んで行きました。9時過ぎ天皇陛下は拍手に送られてご退場され、ようやく会員同士自由に席を離れることができるようになり、改めてあちらこちらで歓談や写真撮影なども始まり和やかな交遊が続きましたが9時半ころ宴たけなわの中、名残惜しいところでしたが今年の晩餐会もお開きとなりました。

支部出席者 日向祥剛 関口興洋 縄田正芳

支部創立20周年記念・特別山行計画 (案)

● 国内 「槍ヶ岳」 集中登山

- 1 内 容 登山最終日に槍ヶ岳で合流します。
翌日全員で上高地へ下山し祝賀会の予定。
- 2 日 時 令和2年8月20日～27日頃の予定
- 3 コース A 上高地～槍沢～槍ヶ岳
B 表銀座コース
C 裏銀座コース
D 折立～雲の平～槍ヶ岳
- 4 定 員 各コース 6人
- 5 問合せ 塚本久嘉 090-7475-6084

● 海外 「玉山」 (台湾最高峰) 3952m

- 1 日 時 令和2年11月中旬予定
- 2 費 用 約20万～22万円
- 3 定 員 16人
- 4 問合せ 三宅 明子 090-1510-1311

※ 「槍ヶ岳集中登山」及び「台湾玉山」の申し込み方法等、詳細については、支部報4月号及びホームページでお知らせします。

10月20日 風頭山頂

第3回榎有恒碑前祭

14523 榎 俊一



榎有恒碑前祭風頭山頂

(写真 榎俊一)



榎有恒碑前祭 森武昭元日本山岳会会長

(写真 花田拓二)

第3回榎有恒碑前祭は令和元年10月20日(日)快晴の下、北九州市門司区の風頭山頂に設置されている榎有恒記念碑と略歴碑の前で碑前祭を行った。

今回の碑前祭には、森武昭元会長(神奈川支部)、高木荘輔福岡支部長、ほか北九州支部会員を含め22人が出席した。主催者として関口前支部長があいさつを行い、次に森元日本山岳会会長の来賓ごあいさつ、北九州市門司区長の祝辞を北九州支部の丹下副支部長が代読披露した。その後、献花を三宅会員が謹んで捧げ、町元会員の指揮で「坊がつる讃歌」の合唱をおこない肅々と一連の記念行事が進んだ後、榎有恒記念碑の前で全員の記念写真を撮りました。

記念行事が終わったあと、山麓の「門司倶楽部」に席を移し記念食事を開催した。

記念食事は園川顧問の乾杯に始まり、楽しい食事会となった。

森元会長より越後の銘酒「八海山」の差し入れがあり盛り上がりました。

伊藤顧問の万歳三唱、竹本副支部長の閉会のあいさつに続き全員の記念写真を撮り本日の榎有恒祭を終わりました。

「榎さんの記念碑がなぜ風頭に設置されたのか経緯説明」
(関口興洋前支部長文参照)

1956年マナスル初登頂に成功した第三次マナスル登山隊の隊長を務めた榎有恒氏が初登頂の報告をするため、1958年九州の各地を廻り、10月旧門司市にあった毎日新聞西部本社へ支援をいただいたお礼のあいさつに立ち寄られた。その時、風師山早朝登山会の堤甚五郎会長(元日本山岳会会員)が榎さんを関門海峡の素晴らしい展望台である風頭にご案内した。

当時の感慨を榎さんが後にしたための詩文を基に、堤さんが記念碑を設置した。

この頂に立つ 幸福の輝きは
これをとらふる 術を知りし
山人たちの 力によるものなり

昭和三十二年十月

榎 有恒



合唱指揮をする 町元会員

(写真 花田拓二)

参加者：23人 来賓 2人 森武昭前会長 高木荘輔福岡支部長

会員：20人 園川陽造 大庭常生 原広美 板倉健一 伊藤久次郎 井上禮子 馬場基介 高島拓生

関口興洋 丹下洽 大木康子 榎俊一 丹下香代子 竹本正幸 竹本加代子 縄手修

町元里香 三宅明子 花田拓二 横山秀司 風師山早朝登山会：1人 柳原武志



榎有恒碑前祭記念食事会 (写真 伊藤久次郎)

11月3日～4日 宮崎県高千穂町三秀台
宮崎支部主催 第35回ウエストン祭
16264 丹下 洽



ウエストン祭 三秀台 (写真 榎俊一)

祝 辞

北九州市門司区長 上田 伸一

『榎有恒碑前祭』の開催、誠にありがとうございます。日本山岳会の発展に貢献した榎有恒氏が、ヒマラヤの「マナスル」初登頂成功の翌年、昭和32年(1957年)10月に、「風師山早朝登山会」創始者の堤甚五郎氏の案内で風師山(風頭)を訪れました。榎氏は、風頭から関門海峡の絶景を俯瞰した折の感慨を述べられ、それをもとに堤氏が、後に現在の記念碑を建てられたと伺っています。この記念碑は、榎氏の功績と、日本山岳会北九州支部や風師山早朝登山会の皆様の自然・景観保護活動など、継続的な地域への貢献を象徴するものと言えます。

日頃から、皆様には、より安全な登山のための技術指導をはじめ、自然保護活動や毎年8月の「山の日」の家族登山の開催などに取り組んでいただき、心から敬意と感謝の意を表します。家族登山のPRにつきましては、引き続き門司区役所としても微力ながら協力させていただきます。

門司区におきましても、風師山の素晴らしい景観や門司の豊かな歴史、自然に恵まれた区内の山々をより多くの皆様に親しんでいただくため、「山あるきガイドマップ」と「風師トレッキングマップ」を作成し配布しています。作成にあった手は、日本山岳会北九州支部の皆様にもお力添えをいただいております。厚くお礼申し上げますとともに、今後ともご支援のほどよろしく申し上げます。

結びに、日本山岳会北九州支部のますますのご発展と、皆様のご健勝を祈念いたします。

7時30分JR門司駅発、くじゅう阿蘇を越え高森へ。阿蘇国民休暇村ビジターセンターに立ち寄る。中断されていた「ハナシノブ、コンサート」が開催されたとの朗報。出来ればポレポレの行事に組みたいと考えています。弁当を食べ「三秀台」へ。途中で道を間違え、計画書に記載されているTEL番号を入れて走るがどうやら高千穂峡へ向かっているようです。竹田からの道へ戻り「三秀台」に開始直前に到着。ヤレヤレ!! 陽が落ち始めると寒い。それにしてもいつも「セレモニー」の祝辞が多く長い。半ズボン、半袖の小学生もいるのに。5時より交流会へ、ここでも神事の玉串奉奠が多く長い。なんとかならないのか・・・!! お神楽に続き今年の新婚さんによる「キャンプファイヤー」点火。去年は新婚さんがいなくて急遽金婚式の私共がピンチヒッターで点火。良い思い出です。カッポ酒で暖まり一寸良い気分。ここで可愛い3才位の男の子に出逢う。太鼓を叩いているママを1人で地べたに座って眺めている。その姿のいじらしさに隣に座って話掛けてみる。良く聞き取れない幼児語で話かけてくる。カワイイ!! 7時過ぎから五ヶ所公民館で懇親会。年々出席者が減っているようです。一言苦言を「飲み過ぎるな!!」

明朝、山行パーティを見送った後、一台の北九州ナンバーの車が入って来た。中年の単独行の女性が「祖母山の登山口を教えて欲しい」と言う。宮崎支部と一緒に登ってはと話す。「予定があり、その時間まで帰りたいので1人でいきたい」との事。昨夜「高千穂山の会」会長の話で「三件の遭難の救助に行ったが三件とも中高年の単独行で、地図を携帯しておらず、一人は亡くなっていた」との話でした。

正にこのケースと同様です。忠告を聞いてもらえず、出発して行きました。



ママの太太鼓を聴く三歳児と丹下会員 (写真: 榎俊一)

帰路「阿蘇・くじゅう高原ユースホステル」に立ち寄りましたが御夫妻とも御不在でした紅葉が美しく楽しいドライブでした。牧ノ戸峠を越えて帰りましたが、紅葉が美しく楽しいドライブでした。

であった。1408年の東峰は狭く人で混み合っていたが早めの昼食とした。どこから見ても大好きな根子岳の山容は陽の光を浴びて輝く最高の紅葉であった。参加して頂いた皆様、本当にお疲れ様でした。

参加者11人

(祖母山) 日向祥剛

(根子岳) 園川陽造 榎俊一 竹本正幸

竹本加代子 縄手修 清家幸三

太郎良嘉親

(散策) 原広美 丹下洽 丹下香代子

11月4日 ウェストン祭

支部山行「根子岳」

14853 竹本 加代子

地域連携事業

11月7日 延永小学校英彦山登山のサポート

みんなで助け合って登った英彦山

14852 竹本 正幸

コースタイム：登山口8：23～根子岳東峰（昼食）
10：16/10：52～登山口12：05



根子岳 (写真 榎俊一)

ウェストン祭記念登山は「祖母山」であったが、北九州支部は阿蘇五岳の1つ「根子岳」登山とする。五ヶ所公民館から35分ほどで、根子登山口に近い色見郵便局横の駐車場に駐車し2台の車に分乗して出発。(計画は下山後の入浴を考えて、月廻り温泉に駐車の手配であった) 大戸尾根コース登山口の駐車場は、すでに10台ほどの車が駐車をしていた。なんとかスペースを見つけて駐車する。今日は最高の紅葉とあって下山時には路肩にたくさんの車が駐車をしていた。我がワンチームはペースを合わせてスローペースの登山となった。お蔭でゆっくりと幾つかのビューポイントで美しい瞬間を目にする事ができた。存在感のある天狗峰は崩落が進み眺めるのみ



延永小学校の英彦山登山サポート (写真 竹本加代子)

昨年からは行橋市立延永小学校の英彦山登山サポートの依頼があり、今年は2回目になる。小学生は、5年生82名を3組に分かれて行動することになった。

英彦山青年の家を10時に出発して、バードコースからボッカコース～正面コースを登る。

北九州支部から6名の会員が参加、子供たちの頑張りですべて予定通り12時に山頂に到着する。田川警察署も訓練で30名ほど登っていた。

下りは、昨年と同じく正面コースを下山した。鎖場ではロープをフィックスして鎖とロープを使って並列に降りたので昨年ほど時間はかからなかった。

途中、軽い捻挫をした子は、森会員が付き添ってボッカコースを下山。鎖場を下りた後、緊張による持病トラブルの子は縄手会員が背負って下山した。サポートにあたっては子供のケガや鼻血や色々な予期せぬトラブルの

対応も事前に学習する必要性も感じた。

この度も子供たちが助け合い、弱い子をサポートすることが多く、感心する。何はともあれ、全員が無事に下山できてサポート任務を遂行できた。

サポートメンバー： 6人 竹本正幸 竹本加代子、
縄手修 森義雄 町元里香 小林英世

9月7日

森林保全一斉巡視 立花山

コースタイム

立花山正面駐車場 9:55→登山口 10:25 →屏風岩
→大クス 11:10/11:20 → 三日月山山頂
12:05/12:30 →立花山山頂 13:20/13:30 →登山口
14:25



森林保全巡視活動 (写真 榎俊一)

今回は森林保全巡視員の前期一斉巡視の一環として立花山・三日月山に行くことにした。

駐車場から登山口までの急坂を登り、いよいよ出発。立花山グリーンガイドの会にも所属している磯野さんの案内で、屏風岩経由で天然記念物の大クスを見に行っただ。福岡にこれほどまで素晴らしい大クスが多数あることを知らなかった参加者もいて、思い思いに写真を撮ったりして楽しんだ。その後もゆっくり進み、12時過ぎに三日月山山頂へ。山頂からは福岡市街の展望を楽しむことができるので、ここで昼食とした。記念写真を撮ったあと、立花山へ。ここでも山頂の展望を楽しみ下山した。今回のコースでは大クスの他、ヤブミョウガやセンニンソウ等見ることができた。また、登山道自体はしっかり整備されており、正面登山口にはホウキ等の清掃道具も準備され、地元の方々にも大切にされている山だと思った。

今回の一斉巡視では、巡視員はもちろんのこと巡視

員ではないメンバーも参加し、楽しく山行を進めることができた。後期は一斉巡視をより良いものとし、森林保全の意識をメンバー全員で高めていきたいと思った。今回、案内や多くの資料を提供していただいた磯野さんをはじめ、参加者のみなさんお疲れ様でした。ありがとうございました。

参加者 11人

森林巡視員 (8人) 井上禮子 馬場基介
磯野文雄 高島拓生 丹下洽 丹下香代子
榎俊一 三宅明子
森林巡視員以外 (3人) 赤瀬榮吉 小林英世
網塚陽子

<月例山行> 報告

9月14日～15日 月例山行 <傾山登山>

霧雨の中登っても登ってもきつい登坂

A0172 太郎良 嘉親

コースタイム

9/14 九折登山口9:45～観音滝10:20～林道出合
10:50/11:00～三尾分岐12:40～三坊主分岐
13:08/13:18～傾山17:34～つづら越小屋19:20
9/15 起床5:00～出発5:50～九折登山口9:11



傾山 (写真 清家幸三)

原尻の滝、道の駅集合し車2台で登山口へ向かう、途中小林さんの車を待ち、3台で登山口へ。

九折登山口をスタートし、観音滝の滝つぼを途中見に行くも道が崩れていて遠くに滝を見るだけで戻る。

林道出合で休憩中、霧雨が降り出す。休憩後、登っても登っても先があるきつい坂道を登る。その後、雨が少し強くなり、雨具を着用する。三坊主の方へ分かれて、2つ目位?で大きな道迷い有り、yamaや山と高原の地図を見てもどっちへ行ったらいいかわからない。何度か登ったり下りたりするが、何とか縄手さんが行ける場所を探し乗り切る。

ようやく傾山山頂到着し写真を撮って急ぎ下山する。小屋まで40分位のところで暗くなりヘッドライトを点灯。霧雨と暗さの為眼鏡が曇り視界が1m位しか見えず。小林さんに先導して頂く。小林さんに本当に感謝。

私のような足の弱者にはあと2時間早くスタートが望ましい。暗くなる前に小屋に到着したいものです。小屋には他に数名居て、私たちの後からも5~6名来て小屋の中が一杯になった。

翌朝、食事して小屋を出発。途中、昨日からの疲労で足の踏ん張りがきかず、下山も苦勞。靴の中の足の小指も痛み、歩くのが大変。九折登山口へようやく到着して靴を脱ごうとしたら、ズボンに血が付いていて、何かと思ったら向う脛あたりが血だらけ。痛くはなにかゆみあり、丸い1か所以外傷無し、ヤマビル？。もうこんな山二度と行きたくないと思ったが、アケボノツツジの頃や紅葉の時期で晴れてたら又行ってもいいかなと思いました。

参加者 5人

会 員： 繩手修 清家幸三 小林英世

準会員： 太郎良嘉親

ビジター： 小畑止

10月26日～27日 月例山行

平戸の山3座
 <志々岐山・佐志岳・上段ノ野>
 塚本・目原・和田



平戸の山

(写真：榎俊一)

15646 塚本 久嘉 (HPコメントより)

今年も平戸ではイトラッキョウ、オトメラッキョウ、ダルマガク、オケラ等多数の花を鑑賞する事が出来ました。今回登った佐志岳、上段ノ野、志々岐岳は低山ですが山頂からの展望が素晴らしいです。今回は登りませんでしたが平戸で一番高い山は安満岳です、鯛の鼻手前の登山口から登れば簡単に登れます、機会があれば是非チャレンジして下さい。

北九473 目原 礼子 (HPコメントより)
 平戸の山参加の皆さまお疲れさまでした&お世話になりました。平戸はいろんな花がたくさん咲いているという事でとても楽しみにしていました。実際行ってみると、登山道の周りではたくさんのお花が出迎えてくれて、心を癒され、写真を撮りながらゆっくり歩きました。海岸での1次会や豪華な刺盛りや煮つけなどおいしく戴き、また山頂でのコーヒータイム等、思い出に残る楽しい山行でした。来年もこのような楽しい企画を期待します。

北九 494 和田 敦子 (HPコメントより)
 平戸の山、三座、お天気にも恵まれてとても楽しい山行でした！お世話になりました。見たことのない小さな花々を見たり、山から海も見えて、山自体は低山ですが急登で登りごたえもあり、久しぶりの登山でしたが良い汗をかくこともでき気持ち良かったです。宿では美味しいお鍋と海鮮の美味しい事。皆さんとお話も弾みました。参加された方々との山談義面白かったです！ありがとうございました。



イトラッキョウ

(写真 塚本久嘉)

参加者 15人

会 員： 榎俊一 大内喜代子 赤瀬榮吉

大谷恵美子 塚本久嘉 小林英世

準会員： 藤原玲子 太郎良嘉親

支部友： 目原礼子 和田敦子 足立美穂

縄田恵美子 田中幸弘

ビジター： 大久保幸代 柴田芳美

11月10日(日) 月例山行

憧れの国見岳登山に参加して

北九520 松岡 文子

コースタイム

五勇橋ゲート7:00⇒登山開始7:10⇒国見岳山頂9:20
 ⇒小国見岳10:05⇒五勇岳11:00⇒昼食12:00⇒烏帽子岳12:30⇒五勇橋ゲート着14:00



国見岳 (写真 町元里香)

支部友の松岡です。

11月10日に以前からの憧れの国見岳登山に参加させていただきました。

登山口まで3時間はかかり早朝からの登山なので9日からの前泊です。離合するのも難しい位の細い山道を前から車が来ないことを祈りつつ車を進め、無事に民宿山女魚荘に到着。夕食は山女魚と鹿のジビエ料理を堪能し、おまけにスズメバチのから揚げで翌日のエネチャージ。

当日は6時の朝食後まだ暗い中、山道を走り7時から五勇谷ゲートの新登山口から登山開始です。最初はなかなかの急登。1時間弱 頑張っ て歩くとその後は緩やかな尾根道だったり木々の中を歩いたり天気も良く景色を楽しみながらの登山です。頂上に着くと、祖母山・九重・普賢岳・阿蘇中岳の噴煙までくっきりと望め、国見岳と名の付く理由がわかる360° パノラマに大感動。その後、周りの山々の景色を楽しみながら、えっ、ここが五勇岳と思うほどなんとなく道すがらにある山頂標識で五勇岳登山を確認して、5月位だとピンクの花に囲まれたらさうシャクナゲの木々の中を歩き、烏帽子岳の手前のこれまた山々を見渡せる岩の上で下界を見下ろしながら昼食です。その後15分位で烏帽子岳に到着。あとは原生林の中を樹齢はどれぐらいだろうと思われる大木を見たりして下山しました。来る時は薄暗く見えなかった山肌の紅葉が青空に映え何とも言えない晩秋の景色を楽しみながら帰路に着きました。素敵な山行 有難うございました。

参加者10人

会 員：赤瀬栄吉 縄手修 塚本久嘉

町元里香 清家幸三

準会員：太郎良嘉親 萩原直樹 藤原玲子

支部友：目原礼子 松岡文子

平戸の山の花 (写真 塚本久喜)

上左 ダルマガク 上右 オトメラッキョウ

下左 タヌキマメ 下右 コウヤホウキ

●日本山岳会 北九州支部の ホームページを ご活用ください

ホームページのアドレス

<http://jac-kitakyushu.jp/>

年間計画や月例山行などは

ホームページ から 申し込みができます。

ホームページ開設に伴い、

「登山計画書」の 提出先は下記へ、

(変更となっています) お願いします。

anzentozan@jac-kitakyushu.jp

ホームページは身近なものです。

活用しましょう !!

身近な山の様子、山行、お便りなども
お待ちしております。



個人山行の原稿を募集 広報委員会

会員の方々から、個人山行や山にまつわるお話などなどの記事を募集しています。

支部報(北九だより)に掲載させていただきます。寄稿にあたっては、下記内容を参考(目安)にしてください。

記載項目

- ・山名 ・標高 ・山行期間 ・記載者(会員番号)
- ・行程 ・50文字程度の感想文 ・参加者
- ・写真 2~3枚程度(スペースにより)
- ・送付先 竹本加代子 宛 お気軽にどうぞ



ポレポレ会山行

9月12日(木) ポレポレ会山行

難読山名「特牛岳」へ

15616 奥田スマ子



赤村 特牛岳 (写真 伊藤久次郎)

田川郡赤村の南西に位置する特牛岳。「こっといだけ」と読みます。「日本難読山名コンテスト20」に選ばれた山で、日本百名山の後方羊蹄山(シリベシヤマ)や皇海山(スカイサン)とも肩をならべてランクインしています。特牛岳に登ったことがない人はすこし気になる山かもしれません。今回会員の要望もあり、福岡県で唯一選ばれた難読山名山行となりました。

標高は690.3m。麓の登山口からだと距離が長くなり少しキツイ登山になりますが、今日は3カ所ある登山口のなかで一番標高が高い登山口から登ることにしました。

9時20分、集合場所の赤村特産物センターに集合して、3台の車に乗り込み出発。登山口に行く車道が一部九州自然歩道にかかっているのが驚きです。昔は歩道だったと思われる樹林の道でした。その道端に駐車して特牛岳登山口まで20分あまり。おしゃべりしながら歩いて10時00分に到着しました。登山口から山頂まで0.6kmですが、かなりの急登です。木につかまりながら登り、小特牛岳を経て10時45分山頂に到着しました。

山頂は自然林の中。他の登山者もなく静です。林床のキノコ類が多く観られ、テングタケなどが目を楽しませてくれました。往路下山して、途中の木陰で昼食タイム。この時、突然「ウッヒャー! キモチイイ〜!」と誰か歓喜の雄叫びをあげました。木々の間を吹き抜けて来る風は本当に心地よく昨日までの暑さが嘘のよう。秋到来を肌で感じました。

下山後は「琴弾の滝」を見学。琴弾の滝では午前中用事で参加出来なかった井上禮子さんにも合流され、滝にスイカを冷やして待っていただきました。そのスイカが全部滝の下流へ流されるというハプニングがありまし

たが、3個のスイカはほとんど無傷ですみました。暑かった今年の夏もようやく終わります。みんなでスイカを食べながら行く夏を惜しみました。皆さま大変お世話になりました。

参加者 13人

会 員：原広美 伊藤久次郎 井上禮子(琴弾の滝~合流) 丹下洽 丹下香代子 縄田正芳 奥田スマ子 中畑智子

支部友：立石シマ子 宇都宮美智子 里耕三郎

10月4日(日) ポレポレ会バスハイク

菊池溪谷と尾の岳(一等三角点)

14264 丹下 洽



菊池溪谷 (写真 伊藤久次郎)

8時15分JR小倉駅発、九州道植木ICより「七城メロンドーム」で昼食。菊池溪谷へ向かう。途中、古墳や城跡の点在する道を走る。かつて「鞠智城(きくちじょう)」や南北朝時代~戦国時代に「菊池千本槍」と武勇を轟かせた菊池一族の大勢力圏であったことが推察出来る。菊池溪谷に駐車し遊歩道を歩く。緑陰を拭き抜ける風が心地良い。熊本地震の為、一部通行止めが続いているが水は清く正に「山紫水明」。

「尾の岳」へ向かう。「尾の岳」は現在の阿蘇山形成以前に火山活動があり旧阿蘇の麓で阿蘇北外輪山のすそ(尾)にあたるのが山名の由来とされる。古代には「火の神」信仰を持つ古代人が住み、1つの文化圏を形成していたと思われ、旧石器、土器、青銅器も出土しているとの事である。山容はなだらか(40年振りで、登山口を探すのに一寸手間取った。) 10分足らずで山頂「寝観音」「小国富士」等、阿蘇・くじゅうの眺めが素晴らしい。一等三角点が設置されているのも納得。

次は昨年11月に開設された「菊鹿ワイナリー」へ。試飲(有料)、美味しいワインだったそうです!!

ポレポレは遠出の場合、バスハイクを企画してはという提案があります。ご意見をお寄せください



バスハイク 尾の岳 (写真 伊藤久次郎)

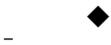
予定した計画より少々遅れての到着でしたが、まだ地図を読めない登山超初心者の私としては、これくらいのスピードが嬉しい。途中、少し進むスピードが早くなると、「少しゆっくり行って下さい」の声が掛かり少し安心しました。とに角、女性陣は特に元気で、彼女達のおしゃべりが聞こえて来て、これも楽しい。おもしろい。思わず笑いそうに。それに同行の皆さんが親切で、歩きながら色々な事を教えてくれる。これもまた嬉しい。下山後は「中屋」にて昼食。これがまた猪の焼き肉も初めての体験でしたが、旨い旨い、満腹、満足でした。てな具合で15時半頃の散会までアツと言う間の一日でした。次回のポレポレ山行が待ち遠しい〜！！

参加者 21人

- 会員：原広美 伊藤久次郎 井上禮子 丹下洽
 丹下香代子 縄田正芳 奥田スマ子
 町元里香 中畑智子 花田拓二
 支部友：網塚陽子 立石シマ子 宇都宮美智子
 星出清美 星耕三郎 竹中伸枝
 米澤眞智子 田中眞一 田中優子
 ビジター：金本和美 都留敏子



「中屋」のご夫妻 (写真 伊藤久次郎)



10月31日 ポレポレ会山行

待ち遠しいポレポレ山行！！

北九522 田中眞一

参加者 15人

- 会 員：原広美 伊藤久次郎 井上禮子 関口興
 洋 丹下洽 丹下香代子 縄田正芳
 準会員：太郎良嘉親
 支部友：宇都宮美智子 星出清美 里耕三郎
 竹中信枝 米澤眞智子 田中眞一
 田中優子



11月14日(木) ポレポレ会山行

国東のお寺と山へ<西叡山・高山寺>

北九518 竹中 信枝



中屋のジビエのお味は (写真 伊藤久次郎)

山登りには全くと言って良いほど興味が無かった私
 が、伊藤さんの版面に感動して「支部友」になったの
 が今年の7月。最初は版面を教えるのが主目的での
 入会でしたが、今は月1回のポレポレ山行は毎月の大
 きな楽しみで、その日が雨にならないか否か心配です。
 入会后、私的に今回3回目のポレポレ山行は山口県の
 「日ノ岳」総員15人。朝の早起きが苦手な私が、この
 日だけは朝からシャキ！！さて山行は9時30分頃か
 らスタートし正午頃に山頂に到着。



西叡山 (写真 伊藤久次郎)

9時00分おこしかけ集合し、先導車に連なって舗装された山道をくねくねと登り、10時30分西叡山8合目、国東半島の山々が見渡せる広い駐車場に着いた。天台宗高山寺の山門をくぐり、美しい砂紋の境内を覗いて本堂でお参りをしていると、いつもはご不在のご住職が帰られた。法話を拝聴し、ご住職のほら貝の音に送られ、裏山571mの西叡山に登る。晩秋ながらまだ紅葉も残り山は冷気と共に凜とした佇まい。二等三角点を確認して鞍部に下り昼食を摂り12時40分駐車場に下山。再び車に分乗して13時10分真木大堂駐車場へ。厚いガラスに囲まれた重要文化財含む9体の仏像、旧本堂と木造仁王像を拝観、敷地内の石像文化財、国東塔等みて廻る。駐車場の土産物売り場の一角に空き箱に座ってくつろいでいる手作りの案山子人形にほっこり和ませてもらった。13時50分花いろ温泉へは自由参加となりここで解散となる。ゆっくりとしたお寺めぐりの山行だった。

参加者 16人

会 員：原広美 伊藤久次郎 井上禮子 丹下洽
丹下香代子 大内喜代子 縄田正芳
町元里香

準会員：藤原玲子 太郎良嘉親

支部友：宇都宮美智子 里耕三郎 米澤眞千子
竹中信枝 田中眞一 田中優子



10月6日 第2回指導員研修会

「指導員研修会」の感想

15806 清家 幸三



指導員研修 皿倉山 (写真 三浦利夫)

指導員研修会は10月6日(日)皿倉山で実施された。頂上近く、ビジターセンターの開館10時30分に合わせ、1時間30分程かけて情報交換をしながら意志の疎通を図りながら登る。

研修会は、園川講師から具体的なテーマが示され「ロープで下降中にセカンドがタイオフとなり、怪我で動けず救助する」ことを想定し、3班に分かれて話し合いながら実践することになった。昼食時も班毎に話し合いを続け、

イメージ作りをする等、この研修会の特徴にもなっている。与えられたテーマ(課題)は、1つは岩場からの事故者を救出すること。現場となる国見岩で12時から班毎に救助活動の実践をはじめめる。10m程の垂直な岩壁周辺の実践場所が緊張と真剣さの空気が変わる。

講師の指示が厳しくとぶ。タイオフの認識不足に加え、それを解除する方法やセカンドをどのように降ろすか、我が班は行き詰まってしまった。

活動にあたって、試行錯誤しながらの実践で時間がかなり過ぎていった。原因は実践前の理解度と、具体的なイメージづくりが共有できなかったことにあると感じた。

2つ目は救出後の搬送方法についてである。救助後に動けない負傷者を、10人のチーム全員で搬出実践により人を運ぶことであったが、けが人を運搬することの大変さを身に染みて体験することができた。

チーム10人の配置は、後尾に2人・誘導者1人、残りの7人は位置を交代しながら担架搬送を行った。

山道移動の大変さに対応するため、全員が声掛けしながらチームワークを維持するなどの大切さを体験した。

研修を終えて、講師から班毎の話し合いについて、その内容と実践したことをまとめ、レポートを提出する旨の指示があった。この研修で「遭難対策の大変さと理解ができた。」こと、同時に登山活動の奥深さについても体験を通じて学ぶことができた。

また、この研修会に山下香代子さんが指導員を目指して参加されたことを付け加えておきます。

講 師 園川陽造顧問

参加者 10人 竹本正幸 竹本加代子 縄手修
三浦利夫 町元里香 赤瀬榮吉 奥田スマ子
清家幸三 松本重裕 山下香代子

12月1日 山岳専科

平尾台カルスト台地を楽しみながら 充実した読図実地の講習会

A0087 藤原 玲子



山岳専科 平尾公民館 写真 竹本加代子

12月1日(日)平尾台で「読図実地講習」があり、天気が昼から雨の予報で心配でしたが、カルスト台地での講習なのでとても楽しみにして参加しました。

最初は平尾公民館で、参加者を3班に分け打ち合わせをして各々、設定された場所に行くルートの選定と進行方向の確認をどの分岐で行うかを決定し、茶ケ床に移動しました。茶ケ床では自分が立っている位置に目印を置き、地図を正三角形と見なし、コンパスを進む方向に合わせ、1辺を15歩で進み3辺全部それを繰り返して元の位置に戻る練習をしました。しかし、戻り位置がどうしてもずれてしまいます。園川顧問から、同じ歩幅で歩くようにアドバイスを受けましたが、コンパスの方向へ真っ直ぐ進み、同じ歩幅の歩きが難しかったです。

事前研修が終わり、3班のパーティに分かれ、私達は大平山へのルートです。茶ケ床で事前練習をしていたので、最初に決めた分岐点で「コンパスの進行方向を確認して進む」を繰り返して出発地点に無事戻る事が出来ました。

大平山に登っている時に、園川顧問から「来る途中で脇道に気がつきましたか?」と聞かれてドキッとしました。途中に何があったのかを覚えていると、道に迷って戻った時に確信がもてる。それと、方位を読む時の注意点は、地図とコンパスは手で持つと傾いて誤差があるので、リュックの背中の水平な部分に置き正確に測ること。山の中では岩石が磁化されている事があるので岩の上ではしない等、より細かく教えて頂き本当にありがとうございました。三浦指導員も分かりやすい資料を沢山用意して頂き有難うございます。雨も心配なく、最後まで講習を受ける事が出来とても勉強になりました。他の指導員の方達も、ご指導頂きありがとうございました。



平尾台 コンパスワーク (写真 竹本加代子)

講師 園川陽造顧問

参加者 11人

会員：竹本正幸 竹本加代子 赤瀬榮吉

森本信子 縄手修 三浦利夫 町元里香

準会員：藤原玲子

支部友：木戸理恵 田中眞一 田中優子

令和元年度

全国支部合同会議の報告

14523 榊 俊一

2019年9月28日～29日に東京都千代田区のプラザエフにて支部合同会議が開催され日向支部長と事務局の榊が出席しました。

全国支部員64人、本部員30人の94人で開催されました。

当北九州支部に関係があると思われる事項について報告します。

- 1 個人情報保護法の改正に伴う対応について
 会員名簿配布の問題
 登山計画書の住所等の問題
 会員名簿の保管
 本部が現在検討中につきそれまでの間、住所、年齢、電話番号等については全員に配布等は行わないこと、会員名簿については閲覧等に注意すること。
- 2 家族登山の全国ネットワーク構築(今後構築)
- 3 支部アドレスの問題 支部前任者の閲覧
- 4 準会員の役員就任問題 準会員の支部長以外の役員に任命
- 5 廃ロープ提供のお願い(詳しくは事務局まで)
 古タイヤと廃ロープを利用したサンダル作成用
- 6 テント盗難問題
 立山でテント幕営中、登山のためテントに用具等を入れて登山し下山したところ、テントを含め用具ともなくなっていた。
 その他2～3件報告あり。
- 7 宮崎全国支部懇談会のご案内
 全国支部懇談会を2020年5月16日(土)～17日(日)宮崎県宮崎市青島のANAホリデイ・インリゾートで開催のご案内(支部報JAC北九だより登載)
- 8 年次晩餐会の開催について
 ※ 晩餐会案内の発送10月下旬(日付未定)
 一般会員は、会報「山」に同封して発送。
 振込用紙が2枚、晩餐会会費16,000円と記念山行費5,000円が必要です。
 間違いのないよう振込んで下さい。

個人山行 寄稿

今回、会員の方々から、個人山行の記事を募集しましたところ。4点ご応募いただきました。執筆くださった皆様、ありがとうございました。



個人山行

ば〜婆の山歩き <後立山連峰> 15027 森本 信子

- 期 日 9月2日～9月6日
- 山 名 爺ヶ岳・鹿島槍ヶ岳・五竜岳
- 参加者 森本信子 山崎近史(会員外)
- 行 程
 - 9/2 移動日 下関～信濃大町(泊)
 - 9/3 信濃大町～扇沢～柏原新道～爺ヶ岳～冷池山荘
 - 9/4 冷池山荘～鹿島槍ヶ岳～八峰キレット～キレット小屋
 - 9/5 キレット小屋～北尾根の頭～五竜岳～五竜山荘
 - 9/6 五竜山荘～白岳～遠見尾根～白馬駅
- 爺ヶ岳より見上げた双耳峰の美しい姿の鹿島槍だ！鹿島槍の北壁は(寒かった！鹿島槍ヶ岳)、重いザック背負い不安定な足場。ここを下らなければ前に進む事が出来ない。恐怖で足がすくむ。何とか壁を下る事が出来た。八峰キレットは怖そうに見えたが、くさり、梯子がしっかり固定されており難なく通過する。スリルを楽しんだ。雨に降られず4日間のんびり風景を楽しみながら厳しい岩場を下り歩けた事に感謝！



五竜岳



鹿島槍ヶ岳

個人山行

～日本百名山登頂を目指して～ 14916 赤瀬 榮吉

日本百名山登頂まであと6座。9月、昨年から期間限定で解禁となった御嶽山他3座を登った。(移動日は含まず)

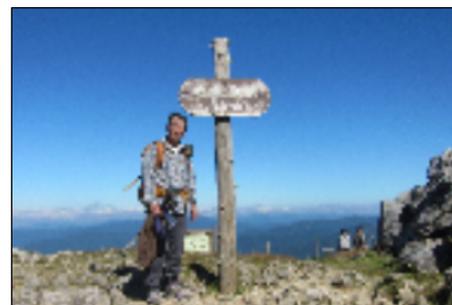
- 期 日 9月15日～9月18日
- 山 名 御嶽山 伊吹山 大峰山 大台ヶ原
- 参加者： 赤瀬榮吉
- 行 程
 - 9/15 御嶽山(95座目) 御嶽ロープウェイ飯盛高原駅～山頂～下山
 - 9/16 伊吹山(96座目) 伊吹山登山口～山頂～下山
 - 9/17 大峰山(97座目) 行者間トンネル西口～弥山～八経ヶ岳～下山
 - 9/18 大台ヶ原(2回目) ビジターセンター～日出ヶ岳～大蛇ヶ原～下山
- 今年こそ百名山達成を目指したが、草津白根山の登山規制が解けず、達成できず残念である。百名山はあと3座(苗場山、草津白根山、浅間山)
- 御嶽山はF氏と二人、あとは単独。マイカー移動、復路大阪南港からフェリーを利用。



大峰山



御嶽山



伊吹山

個人山行

ヤッター！ 槍ヶ岳

北九526 小畑 止

- 期 日 9月25日～28日
- 山 名 槍ヶ岳
- 参加者 縄手修 小畑 止
- 行 程

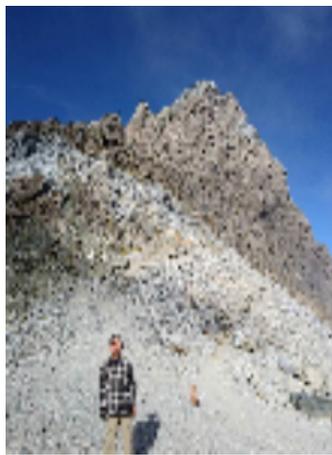
9/25 移動日 北九州～平湯～上高地（山研）
 9/26 上高地（山研）～横尾～槍沢～槍ヶ岳山荘
 9/27 槍ヶ岳山荘～槍ヶ岳～槍沢～上高地～平湯
 9/28 移動日～帰宅
 初めての北アルプス槍ヶ岳に初挑戦、ベテランの縄手さんと2名で出発。まずは上高地山岳研究所に宿泊、26日早朝より出発。15時位に槍ヶ岳山荘到着。翌日頂上へアタックですが、ここまでの道のりはベテランの縄手さんのペースに着いていけず人一倍頑張りました。ヤッター！頂上からの眺めは絶景でカメラのシャッターが止まりませんでした。



槍ヶ岳山荘



槍ヶ岳山頂



槍ヶ岳をバックに

個人山行

やっと登れた平ヶ岳！

14853 竹本 加代子

- 期 日 9月21日～9月26日
- 山 名 越後駒ヶ岳 平ヶ岳
- 参加者 榊俊一（平ヶ岳合流） 竹本正幸 歳弘逸郎
奥田スマ子 町元里香 藤原玲子 竹本加代子

- 行 程
- 9/21 新門司港～<阪九フェリー>～泉大津
- 9/22 泉大津～新潟県魚沼市・奥只見民宿<樹湖里>
- 9/23 枝折峠～駒の小屋～越後駒ヶ岳～枝折峠～民宿
- 9/24 雨のため停滞（宿の送迎車・雨で送迎不可⇒観光）
- 9/25 民宿～送迎車で皇太子ロードを中ノ岐登山口～玉子石分岐～姫の池～平ヶ岳～登山口～<民宿・樹湖里>～金沢泊
- 9/26 移動日～帰路
- 一般車通行不可（14時）大雨で鉄砲水、落石、道路が洗掘され不通になる。そんな道路を2日目にしてやっと通行。やっと登れた平ヶ岳。



中ノ岐登山口付近の渡渉



平ヶ岳



越後駒ヶ岳

＜お知らせ＞ 行事・山行・計画

2 月

●広島支部との交流会のご案内

～広島支部と

楽しいひとときを過ごしましょう～

- 1 期 日 令和2年2月15日(土)～2月16日(日)
- 2 宿 泊 八幡山荘 (斎広島支部長別荘)
- 3 日 程 2月15日(土)
 - 18:00～ 懇親会
 - 19:30～上野吉雄先生講話
- 2月16日(日)
 - 交流登山(スノーハイク)
 - Aコース 臥竜山登頂(ラッセルに挑戦)
 - Bコース 八幡高原千町原自然観察
(上野先生の自然観察案内)
- 4 講 師 上野吉雄先生(プロフィール)
農学博士、西中国山地自然史研究会(副理事長)
日本野鳥の会などで鳥類・哺乳類の調査、
研究に携わっておられます。
- 5 参加費 5,000円(1泊2食、懇親会、2/16の弁当代
含む)
- 6 用 具 ※ワカンは貸出あり
- 7 申込み 町元里香 メール zoo_7788@yahoo.co.jp
携 帯 090-9572-6939
- 8 締切り 1月31日(金)

●第4回山岳専科(令和元年度)

- 1 リーダー 三浦利夫
- 2 テーマ レスキュー(応急処置・救助等等)その他
消防署による講習を含む
- 3 期 日 2月9日(日)
- 4 場 所 北九州市消防局門司消防署 老松分署
(北九州市門司区浜町3-22)
- 5 集 合 時間 午前9時30分
- 6 携行品 通常登山装備一式 筆記具 昼食
- 7 申込み 三浦利夫 090-2850-6020
- 8 締切り 1月26日(日)

3 月

◆月例山行◆

●仰烏帽子岳 1301.8m

～福寿草観賞～

- 1 日 時 令和2年3月1日(日)
- 2 集 合 ①時間 7時30集合
②場所 道の駅五木の里 0966-37-2301
- 3 装 備 登山用具一式、昼食、飲み物、非常食、
希望者は温泉グッズ
- 4 申込み 赤瀬栄吉 090-7475-9748 又は E-mail
- 5 締切り 2月2日(日)
- 6 その他 ①前泊を希望される方はログハウスでの宿
泊を考えていますので、早めに申し込み
をしてください。 0966-37-2301
②前日、2/29(土)は国見山・白髪山の
登山を考えています。

●福智山系縦走(山行訓練)

- 1 日 時 令和2年3月15日
- 2 集 合 ①時間 JR八幡駅6時25分、
②場所 皿倉山麓駅7時00分(駐車料金300円)
③JR利用 博多駅5時00分⇒八幡駅6時19分
- 3 コース JR八幡駅～皿倉山～尺岳～福智山～
牛切山～JR採銅所駅
所要時間 約12時間
- 4 装 備 通常の日帰り縦走装備
- 5 申込先 田中幸弘 090-3661-3040
- 6 申込み方法 ホームページ又はSMSにて、必要事
項(会員番号、名前、住所、電話番号、
緊急連絡先、集合場所)を明記の上申
し込んで下さい。
- 7 締切り 2月28日

●第4回指導員研修

- 1 日 時 3月7日(土)～8日(日)
- 2 場 所 伯耆大山
- 3 内 容 テント泊にて冬山訓練
- 4 申込み 清家幸三 090-8664-4411
- 5 締切り 1月20日(月)

◆月例山行◆

●森林保全巡視員による一斉巡視について(ご案内)

篠栗四国八十八ヶ所霊場の霊峰を歩く巡視活動

- 1 参加者 巡視員以外の方も参加できます。
- 2 期 日 3月20日(金・祝日)
- 3 集 合 JR篠栗前駅改札口 午前8時30分
モデル列車(普通列車)
JR博多(8:04)===篠栗(8:22)
※ダイヤは変更になる場合もありますので、
登山計画書にて再度お知らせします。
- 4 行 程 若杉楽園駐車場(9:30)～綾杉～トウダの二
又杉～ジャレ杉～若杉奥之院～若杉山頂～
若杉山頂売店(昼食)～大和の大杉～七又杉
～若杉楽園駐車場(15:00頃)
所要時間 約5.5時間

※ 篠栗駅から若杉楽園駐車場までは、車に
分乗して移動します。
- 5 申込み 三宅明子 携帯090-1510-1311
メールakkorose.27@gmail.com
- 6 締切り 2月29日(土)
- 7 装 備 一般登山装備(防寒対策をお願いします)
- 8 その他 巡視員は、腕章及び委託証明書を持参して
ください。

4 月

◆月例山行◆

●由布岳 1583.3_㍎

リーダー：三浦利夫

- 1 期 日 4月12日(日)
- 2 集 合 正面登山口駐車場
- 3 時 間 午前8時30分集合
- 4 行 程 正面登山口～合野超～マタエ
～西峰～東峰～マタエ
～正面登山道登山口
コースタイム 6時間程度
西峰～東峰へのお鉢巡りは、天候等
の状況により変更する場合があります。
- 5 携行品 一般登山装備
- 6 申込み 三浦利夫 携帯090-2850-6020
- 7 締切り 3月15日(日)

●十種ヶ峰 989_㍎
～ヤマシヤクヤクの大群落～

- 1 日 時 4月29日(水・祝)
- 2 集 合
①時間 10時
②場所 神角(こうづの)登山口(約550_㍎)
駐車場集合
- 3 装 備 登山用具一式、昼食、飲み物、非常食、
希望者は温泉グッズ
なお、ヤマシヤクヤクは開花期が限ら
れており、うまく出会えない可能性も
あります。
- 4 申込み 小林英世
メール h.kob.910hodaka@gmail.com、
携 帯 090-4896-5884のSMS、
電話は不可
- 5 締切り 4月24日(金)

ポレポレ会のご案内

ポレポレ会で・・・
野の花を愛で、史跡をめぐり、
その土地のおいしい料理を食べ、
のんびり山歩きを楽しみませんか！！

●ポレポレ山行

- ① 2月27日(木) 鯖釣山 豊浦の名峰
- ② 3月26日(木) 六ヶ岳 ショウジョウバカマ観賞
- ③ 4月19日(日) 等覚寺 松会(まつえ) 修験道の儀式
- ④ 5月21日(木) 求菩提山 ヒメシヤガ観賞
- ⑤ 6月14日(日) 南阿蘇野草園ハナシノブコンサート

※ 集合時間や行程についての問い合わせ先

丹下 洽 090-3732-8843

ご協力・お願い

●英彦山山頂トイレ清掃

北九州支部の皆様・ご協力ください！！
当支部の掃除当番は下記の通りです。

- ① 2月12日(水)
- ② 3月25日(水)
- ③ 4月以降は未定です。

参加できる方は、3週間前に申し込みください。

自然保護担当 奥田スマ子 080-8589-0903

●会務報告

令和元年11月定例役員会

事務局

1 日 時 令和元年11月7日(木) 18時から

2 場 所 当支部ルーム(毎日西部会館1F)

3 出席状況

出席者 関口興洋 丹下洽 丹下香代子 馬場基介
竹本正幸 榎俊一 赤瀬栄吉 縄田正芳
塚本久嘉 縄手修 奥田スマ子 町元里香
小林英世 日向祥剛 清家幸三

欠席者 花田拓二

4 議 題

(1) 会員の異動状況(総務委員長報告)

①新入会員 通常会員

準会員

支部友 北九525 太宰聖志
北九526 小畑止

②退 会 者 通常会員

準会員

支部友

③通常会員 66人 準会員 4人 支部友 44人

会友 4人 合計 118人 (2019.11.7現在)

(2) 会費納付状況(未納者)

通常会員 3人 支部友 3人

(3) 山行・行事報告

9月4日(水) 定例役員会

9月7日(土) 森林保全巡視活動(立花山) (11人)

9月8日(日) 西登会からの要請 ロープワーク講習、実施 (4人)

9月12日(木) 特牛岳(コトイ) (11人)

9月14日(土)～15日(日) 傾山テント泊 (8人)

9月20日(金)～24日(火) 北アルプス(槍ヶ岳)
(中止)9月28日(土)～29日(日) 支部合同会議
(支部長、事務局長)

9月29日(日) 由布岳(中止)

10月4日(金) 尾ノ岳・菊池溪谷バスハイク
(21人)

10月6日(日) 第2回指導員研修 (15人)

10月9日(水) 英彦山山のトイレ清掃 (7人)

10月20日(日) 槇有恒碑前祭 (23人)

※縄田会計より・飲食代は会計からは出費しない。

参加費用を支出する際には、税金+奉仕料の確認をすること。

10月26日(土)～27日(日) 平戸の山 志々岐山・
佐志岳・上段ノ野(民宿泊) (15人)

10月31日(木) 家裁登山サポート(中止)

10月31日(木) 日ノ岳(湯の口)猪の焼肉 (16人)

11月3日(日) 宮崎ウエストン祭 (11人)

11月4日(月祭) 宮崎ウエストン祭根子岳登山(7人)
祖母山(1人)

(4) 山行・行事計画

11月7日(木) 延永小学校英彦山登山サポート
(6人要請)

11月7日(木) 定例役員会

11月10日(日) 国見岳

11月20日(水) 英彦山山のトイレ清掃

11月24日(日) 国東ロングトレイル
(並石ダム～長安寺～天然寺～椿堂)

12月1日(日) 第3回山岳専科

12月7日(土)～8日(日)年次晩餐会(日向、縄田、関口)

12月14日(土)～15日(日) 忘年登山・忘年の集い
(八面山)

1月1日(水) 英彦山山のトイレ清掃

1月5日(日) 英彦山新春登山

1月7日(火) 定例役員会

1月12日(日) 第3回指導員研修会

1月26日(日) 立石山

(5) ポレポレ会

11月14日(木) 西叡山・高山寺(六郷満山)

1月9日(木) 御許山(立石・豊後高田)初詣

5 審議事項

(1) 20周年記念行事について

役割分担は別紙参照

① 20周年記念誌を発行するか。

来年は8月10日に山の日全国大会が九重で開催される。それに宮崎で5月に全国支部懇談会もあり、
記念誌を含め行事は2021年に執り行う。

② 記念山行は風師山にて槇有恒祭 2021年になる。

③ 特別記念山行は下記の通りで2020年に実施。

A 海外記念登山・台湾玉山 10月下旬から11月初旬に、三宅明子が資料を収集する。

4泊5日でおおよそ20万円程度

参加人数は15人から16人程度

B 国内記念登山・槍ヶ岳集中登山

8月20日～27日を予定

※ 登山に不参加の会員は別途計画する。

(2) 入会のご案内修正版 ・現在のパンフレットを来年3月まで使用する。修正分は来年4月からになる。

(3) 全国支部合同会議(支部長、事務局長)の連絡事項

① 会員名簿配布の問題

② 登山計画書の住所等の問題

③ 会員名簿の保管

④ 家族登山の全国ネットワーク構築(今後構築)

⑤ 準会員の役員就任問題

支部長以外の役員は就任可能になる。よって規約の改定を要する。

⑥ 廃ロープ提供のお願い

本部に提供する。60mで20足のサンダルになる。

⑦ テント盗難問題

2人から3人用が盗難される。

⑧ 宮崎全国支部懇談会のご案内

2020年5月16から17日に実施。

1月10日締め切り。榊事務局長まで。

参加費用は20,000円。双石山山行。

(4) 役員の報告、提案事項

※ 次回役員会 1月7日(火) 予定
(新年会あり)

サロンのご案内

◆ サロンの開催日

会員の情報交換の場として、
偶数月・第1木曜日に開催しています。

● 小倉サロンのおさそい

- 1 日 時 令和2年2月6日(木) 17時30分～20時
- 2 場 所 ルーム
- 3 内 容 ビデオ鑑賞 冬山登山
その後、会食&懇談会
- 4 会 費 1,000円程度
- 5 申込み: 清家幸三 090-8664-4411
電話またはSNSにて



- 1 日 時 令和2年4月2日(木) 17時30分～20時
- 2 場 所 ルーム
- 3 内 容 山の本の読書発表会
その後、会食&懇談会
- 4 会 費: 1,000円程度
- 5 申込み: 清家幸三 090-8664-4411

● 会員の異動・お知らせ

<入会者>

通常会員	16526 城戸剛		
	(支部友から通常会員に)		
支 部 友	北九522 田中眞一 (10月号未掲載)		
	北九523 田中優子 (10月号未掲載)		
	北九524 益野康一 (10月号未掲載)		
	北九 525 太宰聖志 (10/4付)		
	北九 526 小畑止 (10/4付)		
会員数	118人 (2019/11/7現在)		
通常会員	66人	支部友	44人
準会員	4人	会 友	4人

● 博多サロンのおさそい

- ① 日 時 2月13日(木) 18時30分
- ② 場 所 ぶあいそう博多筑紫口店
Tel 092-482-7887
※ 元の丸海屋博多筑紫口店です。
- ③ 会 費 3,500円(食べ飲み放題)
- ④ 申込み 赤瀬榮吉 090-7475-9748
- ⑥ 締切り 2月6日(木)



編集後記

支部報「北九だより」91-1月号をお届けいたしました。編集にあたり、読みやすく、親しめるものを心掛けてまいります。今回、広報委員の発案で「個人山行」を掲載しました。広報委員一同頑張りますので、今年もどうぞよろしくお祈りいたします。安全で楽しい山登りをしましょう。皆様にとって、良い年でありますよう、お祈りいたします。 亀仙人
「生えて 伸びて 咲いている 幸福」 山頭火

居酒屋 「コール天」

●場所: 小倉北区魚町1-2-23 桧山ビル2F
TEL: 093-522-0565

JR 鹿兒島本線 小倉駅南口から

※中央銀天街方面に向かい徒歩5分

(桧山方面バス停から徒歩5分)

※北九州支部は小倉サロンでお世話になっています

